

- 平成18年度 高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金の交付決定について
 - 平成18年6月22日
-

独立行政法人情報通信研究機構(NICT。理事長: 長尾 真)は、平成18年度高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金の助成対象事業を決定しましたので、その結果をお知らせいたします。

1. 交付決定件数
助成対象事業の公募に対し、16件の申請があり、学識経験者等からなる評価委員会(参考資料参照)の外部評価を経て11件を交付決定しました。
2. 交付決定総額 1. 71億円
3. 助成対象事業の概要 別紙のとおり
4. 関連報道資料
平成18年度「高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金」
助成対象事業の公募開始
<http://www2.nict.go.jp/pub/whatsnew/press/h17/060316-2/060316-2.html>

<問い合わせ先>
総合企画部広報室
奥山利幸、大野由樹子
Tel:042-327-6923
Fax:042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>
連携研究部門 特別研究グループ
田中純一、鈴木貴裕
Tel:03-3769-6855
Fax:03-5441-7584

移転に伴い、担当部門問い合わせ先が
下記のとおり変更になりました。

<担当部門問合せ先>
連携研究部門 特別研究グループ
榎本惇一、石井貴朗
Tel:042-327-6014
Fax:042-327-5604

	助成対象事業の名称	助成対象事業者	所在地
1	視覚障がい者向歩行誘導システムの研究開発	株式会社アイエヌビイプランニング	愛知県
2	『3Dトリーキングヘッド』により聴覚障害者を支援する手話アニメーション通信・放送サービスの研究開発	株式会社アトム	東京都
3	地上デジタル放送を利用した高精度GPSナビゲーション・システムの研究開発 (視覚障害者のための「ことばの道案内」支援端末の研究開発)	エル・エス・アイ ジャパン株式会社	東京都
4	障害のある在宅勤務者の遠隔共同作業及びITスキル教育を支援するコミュニケーションシステムの研究開発	株式会社沖ワークウェル	東京都
5	携帯電話を利用した携帯用会話補助装置(身体障害者等支援研究開発)	国際電業株式会社	愛知県
6	聴覚障害児用 発声・発話練習システムの在宅学習カリキュラムの研究開発 (身体障害者等支援研究開発)	株式会社シースターコーポレーション	東京都
7	老人ホーム等近隣の高齢者在宅介護情報システムの研究開発	株式会社シービーシステム開発	東京都
8	対話型コミュニケーションを実現する診療支援システムの研究開発 (身体障害者等支援研究開発)	帝京大学EBMセンター	東京都
9	IPテレビ電話機を活用した肢体不自由者支援システムの研究開発 (身体障害者等支援研究開発)	テクノツール株式会社	東京都
10	リアル・スクリーン・リーダーの研究開発 (身体障害者等支援研究開発)	株式会社ナレッジクリエイション	神奈川県
11	持つだけ簡単ユビキタス！介護支援のための安否確認及び双方向通信システムの研究開発	日本電子工業株式会社	大阪府

(事業者名五十音順)

平成18年度 高齢者・障害者向け通信・放送サービス
充実研究開発助成評価委員会構成

(委員は五十音順・敬称略)

委員長	酒井 善則 さかいよしのり	東京工業大学工学部 大学院理工学研究科 教授
委員長代理	小松 尚久 こまつなおひさ	早稲田大学理工学部 教授
	伊藤崇之 いとうたかゆき	日本放送協会 放送技術研究所 人間情報科学 部長
	斎藤 雅明 さいとうまさあき	東日本電信電話株式会社 ブロードバンドサービス部 オフィス情報機器開発部門 部門長
	重田 憲之 しげたのりゆき	社団法人電波産業会 理事
	諏訪 基 すわもと	国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所長
	中邑 賢龍 なかむらけんりゅう	東京大学先端科学技術センター 特任教授
	水野 雄司 みずのゆうじ	日本政策投資銀行 情報通信部 次長

(以上8名)